



4年ぶりの開催！昭島矯正展



自衛隊東京地方協力本部立川出張所（所長 星2陸尉）は9月24日、4年ぶりに矯正研修所敷地内で開催された第3回昭島矯正展に参加した。このイベントは、法務省が主催する「社会を明るくする運動」の一環として行われたもので、今回は、第32普通科連隊からの高機動車が装備品展示として会場の一角を飾った。

立川所のブースでは来場者がVRゴーグルを体験する驚きと笑いの声が終始響き、装備品展示では、迷彩服を試着して、背嚢を背負ってみたり、防弾チョッキに触れて高機動車へ乗車したりと幅広い年齢層の興味を引いたようだった。また、来場者からは普段の生活や、演習場での訓練の過酷さなどについての質問が後を絶たず、質問に答えた隊員へは、「訓練頑張ってください！」と励ましの言葉を返して声がかかれていた。

イベントも中盤に差し掛かった頃、板妻駐屯地のキャラクター「イタツマン」が描かれた迷彩Tシャツを着た男の子が訪れ、「そのTシャツのイラストは、イタツマンじゃない？」と尋ねると、その子のご家族が「板妻駐屯地の記念行事で購入したんです。」と答えてくれた。自衛隊の色々なイベントに参加しているというそのご家族は、色々なイベントで会う自衛官との触れ合いが楽しみの1つだとも話してくれた。

立川出張所は、色々な場所で自衛隊の魅力を発信している全国の部隊等と同様に、今後も自分達に与えられた地域での広報を最大限発揮し続けることを心に刻み、今後も自衛募集業務に邁進していくとしている。



トピレックプラザで秋祭り

自衛隊東京地方協力本部江東出張所（所長 目崎3海佐）は10月7日、江東区南砂の大型商業施設「トピレックプラザ」の秋祭りで大規模な広報活動を実施した。

当日は秋晴れで最高のお出掛け日和となり、多くの家族連れ等で賑わい、警察や消防、地域のブースが約20個立ち並び、本部の大型トラックをブースの横に配置したことにより、普段なかなか見ることのできない大きな自衛隊車両に、多くの子供たちが興味深々な様子であった。また、ミニ制服を試着しての写真撮影が大人気でブースの前には行列ができていた。さらに、海上自衛隊横須賀音楽隊が演奏準備を始め、お客さんが集まると、その時間を利用して、江東所長、所員及び音楽隊の隊員が自衛隊のぶっちゃけトークを展開した。会場がじわじわと熱気を帯びる中、満を持して横須賀音楽隊が演奏を開始すると、一気に盛り上がり、この日一番の賑わいをみせた。横須賀音楽隊は迫力のある演奏と、子供たちの好きな歌を隊員が熱唱するなど老若男女が楽しめるプログラムで会場を沸かすとともに、観客の子供達の中から希望者へ指揮者体験をさせる等、趣向を凝らした演出で、笑いあり、感動ありの1時間があっという間に過ぎた。

